

第3学年C組 英語科授業案

日 時 平成27年6月15日第1校時
場 所 3C 教室
授業者 天野万喜男

1 単元 National Food, Curry (Japan in Asia)

2 単元の構想

(1) 本単元で目ざす子どもの姿

子どもは、日本のカレーとインドのcurryの違いに興味をもち、両者の比較をしたり、世界のcurryを調べたりする。curryは世界に広まっていること、日本のカレーが世界各国に輸出されていることを知った子どもは、日本や世界の食文化の多様性と奥深さに気づき、他の料理のルーツも調べ始める。

(2) 本単元で伸ばしたい力

子どもは、これまで、缶コーヒーやマンガといった日本から世界へ広がった文化や、世界で認められつつある日本の清掃文化について追究してきた。そして、日本人としてのアイデンティティを自覚し、自文化理解力を伸ばした。また、イスラム教の禁忌であるハラルの追究をとおして、他国の文化を理解し受け容れる、異文化受容力を伸ばした。

本単元は、日本の国民食となったカレーを教材とする。カレーは、現在、日本で麺類やスナック菓子などでも使われている。そのルーツはインドを中心としたアジアである。明治期にイギリスを経由して curry として輸入されて広まり、現在は、カレー粉やレストランの商品として輸出されるまでになっている。子どもは、curry が一つの日本文化として確立されていった経緯を調べ、他の文化をうまく取り込む日本の特質に気づき、自文化理解力を高める。一方で、curry を生み出したアジアの国や、独自に curry 文化を発展させた世界の国、日本のカレーを輸入している国などの考えにふれることで、異文化受容力を高める。また、史実を述べる際には完了形を、立場を変えた言い方をする際には受動態を身につけ、英語活用力を高める。

(3) はたらきかけと「学んだこと」を行動につなげる子どもの姿

PROSPECTの段階では、数多い日本のカレー味の食べ物と、インドの curry 料理を提示する。子どもは、二つの違いを知りたいと思い、調べ始める。意見交流を経て、日本と世界におけるカレーと curry の歴史や捉えを知りたいと思い、日本や外国人に聞き取る計画を立てる。

PROGRESSの段階では、子どもの多くは、curry が世界でそれぞれ発展した独自の料理であると捉える。その中から “Now, curry is the Japanese national food.” という意見を取り上げて意見交流を行い、national food をキーワードとして焦点化する。子どもは、national food の意味を改めて見つめ直し、世界の国々で curry がどのように発展していったのかを明らかにしたいと考える。さらに、子どもの追究から出された、日本のカレーレストランが世界展開している国のリストを提示する。子どもは、カレーの世界の食文化への広がりに着目し、世界各国の人からカレーについて改めて聞き取る。

PROCEEDの段階では、世界各国の人からの聞き取りをもとに、“The difference between Japanese and world's curry” をテーマに意見交流を行う。意見交流の中で、“All the world's curry were developed to match each country.” と考える子どもの意見をもとに焦点化する。自国、他国の文化を共に尊重することが大切であると改めて気づいた子どもは、輸出入される料理とそのルーツを見つめ直す。

5 単元構想表（12時間完了）

【第10時終了時】

段階	主なはたらきかけ	思い・考え	「学んだこと」	子どもの行動	英語科で重視する力
P R O S P E C T	<p>○具体物やデータの提示 カレーの歴史や現状に目が向くようにするために、日本で数多く売られているカレー味の食品とインドでは違う呼び方でない curry を提示する</p>	<p>日本人もハラルを遵守するイスラムの方も礼儀や道徳を大事にしている</p>	<p>和食が世界遺産登録され、世界各国で日本食が食べられている</p>		
P R O G R E S S	<p>○意見交流のテーマ設定 より広い視野で curry について考えられるようにするために、“Now, curry is the Japanese national food.”を意見交流のテーマとする</p> <p>○思いや考え方の焦点化 食文化に目を向けるようにするために、national food をキーワードとして取り上げる</p> <p>○具体物やデータの提示 カレーと世界の食文化とのつながりに目を向けるために、カレーチェーンの世界の店舗リストを提示する</p>	<p>インドと日本のカレーの違いは何だろうか 1～3時</p> <p>味、材料、名前など、日本とインドでは全然違うものである</p> <p>世界に広まった curry は日本食と言えるのではないか</p> <p>curry はインドからイギリスを経由し、日本でカレーとなった</p> <p>カレーは日本食なのか。世界の curry との比較をして、いろいろな国の人々に意見を聞いてみたい</p> <p>curry についての情報や意見を日本や世界の人から集める 4～7時</p> <p>インドでは香辛料をよく使い、それを外国人は curry と呼んだ</p> <p>curry は世界各国でそれぞれ発展し、食されている</p> <p>明治期に伝わった curry は、軍隊や庶民に次第に広がった</p> <p>インド周辺のアジアの国々で curry は広く食されている</p> <p>カレーは curry とは違う日本食として世界で認められている</p> <p>カレーは日本でさまざまに発展し、国民食となった</p> <p>curry もカレーも、今や世界で愛される料理だ</p> <p>アジアの国では、日本のカレーを高級料理として受け容れている</p> <p>日本のカレー味の食品は世界でどうとらえられているのだろう</p> <p>カレー味の日本のスナック菓子やラーメンが世界へ輸出されている</p> <p>世界に様々な curry がある一方、日本のカレーは世界で好意的に捉えられているようだ。どう受け容れられているか聞いてみたい</p> <p>世界の人から見たカレーや curry についての意見を聞く 8～12時（本時11）</p> <p>日本にある外国の料理はどれも日本風にアレンジされている</p> <p>日本は海外の文化を受け容れ融合させる文化が発達している</p> <p>カレーは、それぞれの国で、それぞれに受け容れられていた</p> <p>食文化をいったん受け容れ、そのうえで対応を考えたい</p> <p>大切なことは自他の文化を尊重し認め合うことだ</p> <p>海外でも外国の文化を受け容れ、自国のものにする</p> <p>日本は、食文化をはじめ、外国の文化をうまく取り取ってきた。私たちも、互いの文化を尊重し、認め合えるよう心がけていきたい</p> <p>料理のルーツを調べたり、互いに受け容れ合う文化を調べたりする</p> <p>世界にある様々な料理についてどう影響し合っているか調べる</p> <p>日本で生まれ育った食文化をこれからも大事にしたい</p>		<p>☆英語活用力 ・curryに関する表現をEBとしてまとめ、毎時間練習し使えるようにする</p> <p>☆戦術的対応力 ・意見を伝えるために、ボードを作成するなど工夫する</p> <p>☆英語活用力 ・資料や文書に多く使われる受動態や完了形について知り、使えるようにする</p> <p>☆自文化理解力 ・日本におけるカレーの歴史や、日本人の curry に対する考え方を聞き取り、日本の食文化を理解する</p> <p>☆異文化受容力 ・インドやアジアの curry 食文化について調べ、日本と比べる</p> <p>☆異文化受容力 ・世界の国々がいかにカレーを受け容れていったかを知り、世界の国々の異文化受容力を考える</p> <p>☆自文化理解力 ・世界の文化を積極的に受け容れそのうえで自国の文化と融合させていく日本文化の特徴を知る</p>	
P R O C E D					

4 本時の構想 (11/12)

子どもは、日本のカレーとインド発祥とされる curry に目を向け追究を進めた。そして、“Curry is Japanese national food.”という意見をもとに意見交流を行うことで、世界に広がる curry の歴史や捉え方についても考え始めた。その中から、curry を一つの食文化として捉える見方を取り上げ、日本、そして世界の curry をとおした食文化について外国人に聞き取りをした。

本時は、“The difference between Japanese and world's curry”をテーマとし、単元のまとめの意見交流を行う。子どもは、これまでに聞き取ったり書籍やインターネットで調べたりしたことをもとに、curry を軸とした食文化についての意見を出し合う。そして、文化は互いに影響し合い、他文化のよさを取り容れて発展し合うこと、日本は他の文化を取り容れることが上手である国民性があることを見いだす。そして、カレー以外の食文化にも目を向け、互いのよさを認める姿勢を大事にし、他の食文化や文化についても調べ始める。

はたらきかけ	<input type="checkbox"/> 思い・考え	<input checked="" type="checkbox"/> 「学んだこと」	<input type="checkbox"/> 子どもの行動
①意見交流の テーマ設定 世界に広がる食文化に目を向けられるようするため、“The difference between Japanese and world's curry”を意見交流のテーマとする	① The difference between Japanese and world's curry ingredient, taste, hotness It is taste. Japanese one is sweet. Thai and Indian ones are the hottest in the world.	① The difference between Japanese and world's curry others We should treasure our own culture. It is sometimes too hard to accept the other culture.	
	The difference is main diet or Okazu. How to eat makes big difference. many kinds in the world	Taiwanese and American have eaten Japanese curry. Curry is a representative of Japanese dishes. each food culture	
	There are many countries' curry in Australia. There are many types of curry in the world.	Japanese one is made to adjust to Japanese and the world's ones are made to adjust their own tastes.	
②思いや考えの焦点化 異文化受容力に目を向けさせるために、 ③ の“All the world's curry were developed to match each country.”という意見を取りあげる	② Many kinds are made by their own ways in the world. So, I can't tell the difference between them.	All the world's curry were developed to match each country.	
	Japan has made curry and rice, and ramen from other food culture.	Japanese curry is accepted by people in the world.	
	Japan is good at accepting other cultures, especially food culture.	An Australian said that they ate curries from the world, too.	
	To accept each culture is important to develop our own culture.	Cultures are influenced to each other. Food culture is easy to understand.	
	日本は、食文化をはじめ、外国の文化をうまく取り容れてきた。私たちも、互いの文化を尊重し、認め合えるよう心がけていきたい		
	料理のルーツを調べたり、互いに受け容れ合う文化を調べたりする		